

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2017年1月発行

あけましておめでとうございます。皆さんは、どんなお正月を過ごされましたか。久しぶりに、家族や友人が集まってにぎやかに、はたまたゆっくりのんびり・・・という方、早速お仕事、という方もみえたでしょうか。寒さも本格的になってきました。風邪などひかれないように暖かくしていただいて、今年もはもりあの講座に、たくさんお越しください。1月～3月まで、まだまだ、さんかくカレッジもたくさんあります。2月3～5日は「はもりあフェスタ」です。市民グループの皆さんと準備中です。おたのしみに！

さんかくカレッジ2016市民企画講座 受講者募集中

『子育てだって、さんかく！
～みんなで学ぼう、子どもの育ちに大切なこと～』

《NPO法人体験ひろば☆子どもスペース四日市》
企画・運営

子どもの権利って、なんだろう。今どきの子育て支援って、どうなってるの。遊びの『意味』ってあるのかな？ 一緒に学びながら、パパもママも地域の人も子育てに参画してみませんか

第1回 2/18(土) 9:30～11:30 「子どもの権利とは」

講師：NPO法人体験ひろば☆子どもスペース四日市 理事長 水谷 孝子さん

第2回 2/19(日) 13:30～15:30 「子育て支援とは？」

講師：相模女子大学学芸学部子ども教育学科 教授 久保田 力さん

第3回 2/25(土) 13:30～15:30 「遊びの大切さ」

講師：学校法人暁学園・暁幼稚園 園長 松永 高弘さん



3回連続
講座です

対象 市内在住、または通勤・通学し、子育てに興味のある方

場所 本町プラザ2階 第1会議室 (ただし、第2回のみ本町プラザ1階 ホール)

定員 全3回30名(先着順) 第2回のみ受講70名も募集します(先着順)

参加費 全3回通して1,000円 第2回のみ受講の場合500円

託児 無料(6カ月～小学3年生程度まで 15名程度) ※2/7(火)までに要申込(先着順)

申込み 講座名・参加者名・住所・電話番号・託児希望の場合は預ける子の名前と年齢を電話かFAX、またはEメールで「はもりあ四日市」まで

電話 354-8331 FAX 354-8339 ✉ kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp



2月3日(金)～5日(日)「はもりあフェスタ」を開催します

オープニング：写真でふりかえる「はもりあ」20年・登録グループ活動発表・ワークショップ紹介

チャレンジショップ：手作り品販売やハンドマッサージその他、ランチコーナー・物産コーナー

エンディング：パネルディスカッション『原点回帰「はもりあ四日市」の20年とこれからの語ろう』

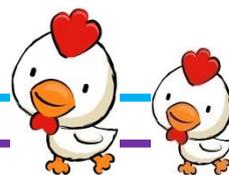
ワークショップ：男女共同参画の視点で企画された13の講座

パネル展示：はもりあの登録グループの活動の様子をご紹介します

詳しくは、「はもりあ四日市」、地区市民センター等にございますチラシをご覧ください。

四日市市HPでもご覧いただけます。たくさんの方のご来場をお待ちしております。

お問い合わせは、「はもりあ四日市」まで



まだまだ盛りだくさん「はもりあ四日市」の事業予定

3月に、春休み子どもさんかくカレッジ・父と子のさんかくカレッジ第3弾・男女共同参画講演会・男女平等教育指導者養成講座を予定しています。詳細については、随時、広報よっかいち・情報紙「はもりあ」等でお知らせしていきます。

事業 報告

さんかくカレッジ2016市民企画講座 「おやじの昼ごはん」・「子育てママのための人生設計」開催しました

今年度の「はもりあ四日市」登録グループの企画・運営による「さんかくカレッジ2016市民企画」5企画のうち2つの講座が終了しました。

【男のカンタン料理「おやじの昼ごはん」】

シニアサークル「男の囲炉裏端」の会

定年後の男性の時間の有効活用と男性の家事参画のきっかけにと企画されたこの講座は、12名の定員を、大きく上回る申込みがあり、抽選で選ばれた方々でのスタートとなりました。献立は、「肉じゃが」や「親子丼」、「カレーライス」といった誰にでも馴染みのあるメニューでしたが最初はエプロンの付け方にも苦戦する方がいて少し不安でしたが、講座が始まると、講師の説明を熱心に聞き、いざ調理になると、不安もふきとばす手際の良さと、参加者同士の見事な連携プレーで予定時間より早く出来上がりました。アンケートでは“回数をもっと増やしてほしい”“土曜の昼は自分が料理をするようになった”とうれしい



【講座の様子】

声をいただきました。この講座をきっかけに、どんどん家事に参画していただくといいなと思います。



【子育てママのための人生設計】

NPO 法人ワークスタイル・デザイン

“今のライフステージから、これからのなりたい自分を思い描く”をコンセプトに企画されたこの講座は、子育て中の女性を対象に、子育てと仕事を両立している先輩ママの体験談を聴いたり、悩みや夢を話し合うというグループワーク形式で行われました。受講生が全員子育て中のママということもあり、悩みや迷いを共有できていたようでした。子ども中心になりがちな生活で、つい自分のことは後回しにすることが多いなかで、今回、「自分のための人生」ということで自分自身について具体的に考えるきっかけになったのではないかと思います。「自分の人生」仕事も夢も子どもがいることを言い訳にせず、子どもがいてもできるように工夫していくという講師の力強いメッセージが印象的でした。



【講座の様子】

事業 報告

女性のためのプチ起業入門講座 ～好きなことを仕事にするには？～

12月10日に本町プラザ1階ホールで、女性のためのプチ起業入門講座を開講しました。一般財団法人女性労働協会の協力のもと、株式会社ママジョブ 代表取締役の斎藤あや子さんを講師としてお招きしたこの講座には、64名の参加がありました。先輩の起業事例や、好きなことを仕事にするための方法、そして商品・サービス・顧客の絞り込み方など、プチ起業のコツを具体的にお話いただくとともに、今日から取り組んだほうが良い「約束」もお伝えいただきました。

受講者のアンケートからは、「もっと聞きたかった」、「自分のやりたいことが明確になった」、「お客様像を考えるキッカケになった」など、前向きな感想が寄せられました。この講座がキッカケで、起業される女性が増え、現在よりもっと女性の社会進出が進むことを願い、今後も女性の起業支援などに取り組んでいきます。

開催しました！！



【講座の様子】

グループワークを多数取り入れた当講座は、大変盛り上がりしました！【担当者より】



相談室には、毎年3,000件以上の相談が寄せられ、その内、主訴が夫や元夫からの暴力(DV)が約6割を占めています。暴力には、身体的暴力だけでなく、精神的暴力、社会的暴力、経済的暴力、性的暴力があります。

多くの男性は、自分には関係ないことだと思ってみえるかも知れませんが、この本が「ひょっとして妻を傷つけてきたかもしれない」と、気づきのきっかけになることを願います。

『なぜ妻は突然、離婚を切り出すのか』

- 第1章 夫婦円満、本当ですか？
- 第2章 こんなサインに気づいたら
- 第3章 突然の離婚の申し入れ
- 第4章 裁判所に行くことになってしまったら
- 第5章 離婚(突然離婚)を避けるためのアドバイス

<祥伝社新書>

図書コーナーの新刊

『キレル私をやめたい』
『首長の挑戦 - 女が政治を変える』
『幸せのための憲法レッスン』
『LGBTってなんだろう?』
『おひとりさまの最後』
『老後のお金と暮らしの本』

著者：打越さく良さんプロフィール

離婚、DVなどの家事事件を多く扱う女性弁護士
都内児童相談所の非常勤嘱託弁護士
文京区男女共同参画推進会議委員

今月のキーワード

ポジティブアクション

ポジティブアクションとは、社会の様々な場面で、性別や慣習などが原因で差別を受けている人たちに對して、差別がなくなるまでの期間、積極的に特別な取り組みを行うことで、積極的改善措置とも言われています。

例えば、国会議員や審議会委員等において、男女が一定割合以上になるよう割り当てるクォータ制や、一方の性の人たちを対象とした研修や環境の整備を行うこと等は、具体例として挙げられます。

内閣府男女共同参画局の調査(平成28年男女共同参画社会に関する世論調査)によると、調査対象となった方々(約3,000人)の約82%は、この言葉を見たり聞いたりしたことがないそうです。しかし、ポジティブアクションは、国や地方公共団体はもちろん、最近では雇用面で取り組む企業なども増加しています。

四日市市でも、起業や防災分野等に関心のある女性や、子育て分野に関心のある男性を対象とする講座を実施しています。また、市の政策・方針決定の場において、男性と同数程度女性が参画できるよう働きかける取り組みも行っています。

ポジティブアクション等を活用し、性別に関わらず、あらゆる分野で個性と能力を十分に発揮できる社会を目指し、男女共同参画を推進していきます。

男女共同

さんかくeye

あい

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点 ✨を通してね。

今回も、私(43歳男性)の子育て奮闘記です。

S君が無事に11月21日に誕生しました。11月28日に母子ともに退院し、現在は我が家で元気に過ごしております。R君とK君もS君に興味津々で、最近では「だっこをしたい」とよく言っています。

さて、育児休業中の報告です。妻が入院している1週間が最初の試練と思っていたのですが、意外と問題なく過ごすことができました。私とR君K君の3人だけの生活だったのですが、幼稚園のお弁当作りも無事にこなせ、子どもたちも妻を恋しがることもなく、男ども3人で楽しく過ごすことができました。もしかしたらこれは、妻が入院する時に、3人で円陣を組み、「お母さんがいない間3人で頑張ろう。エイエイオー！」と声掛けしたことが良かったのかも。(>_<)

幸先の良いスタートが切れたことで、順調に家事・育児がこなせると思っていたのですが、妻とS君が退院してきてからが試練の始まりでした。「これが本当の育児かぁ。」と痛感した内容は次号以降で報告します。

【育児休業中のさなか、合間を縫って原稿を仕上げた担当：Y】

登録グループイベント情報



NPO法人四日市まんなかこどもステーション

NPO法人四日市まんなかこどもステーションは、子どもが心も身体も豊かに成長するために、子ども体験と子育て支援を通して、みんなの居場所をつくります。そして、大人も子どもも互いに、学び合い、心響き合い、表現し合う社会を目指して、活動しています。

まんなかの子育ちひろば 子育てサロン「カフェまんなか」

家ではなかなかできないような絵の具や小麦粉粘土等で遊びます。大人は、子どもの遊びを見守ります。一度遊びに来てください。

日時：平成29年1月24日（火）

10:00～13:30

場所：四日市まんなかこどもステーション

参加費：1家族100円（予約不要）

持ち物：着替え（汚れてもよい服装）

お茶・昼食持参可

毎日家事や育児に忙しいお母さん、こどもと離れて大人だけゆっくりおしゃべりをしませんか？

日時：平成29年1月26日（木）

10:15～12:15（受付10:00）

場所：四日市まんなかこどもステーション

参加費：500円（会員200円）

*美味しいコーヒーとお菓子付

託児：500円（2人目から250円）

定員：6組（定員になり次第締切）

お申込み・お問合せ：四日市市西町2-12 電話：059-351-6670 FAX：059-351-6679

登録グループイベント情報



傾聴同好会

安心して話しのできる場所 話すことで元気づくり（傾聴）

子育てのこと、介護のこと、地域のことなど気軽に話して楽になってください。1対1でゆっくりお話を聴かせていただきます。

日時：毎週金曜日 13:30～15:30

（12月30日はお休み）

場所：なやプラザ3階 会議室

（四日市市蔵町4-17）

参加費：無料

その他：話し相手を探すつもりでお越しください。

問合せ：059-345-5214（代表：開発 道代）

参加者に、うれしいこと・楽しいこと・悲しいことや辛いことを話していただき、それを聴きとめる場を提供することにより、参加者の心身の健康と安らぎを保ち続けることを目的とします。

日時：毎月第1・3水曜日 13:30～15:30

場所：中部地区市民センター3階 会議室

参加費：無料

問合せ：^{あまがほ}天春 すみ子 電話・FAX：059-353-1364

辻井 康雄 電話・FAX：059-326-5598

○●◎あとかき◎●○

あけましておめでとうございます。はもりあ四日市の堀口です。以前は、子どもとよくウィンタースポーツを楽しんでいました。子どもと一緒にいるので自分の思うようにはできませんが、笑顔が絶えないので親子とも充実した1日になった記憶があります。機会があれば今度は孫と行ければと思います。今年の気候は寒暖の差がありますので、健康管理には気を付けて下さい。



四日市市男女共同参画センター（はもりあ四日市）

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml